

01 教育開発調査活動費制度の利用

専任教員がITを活用した授業を実施するにあたって、自らのスキル向上や他大学などの先進事例を知りたいと思われた場合、学習支援・教育開発センターの教育開発調査活動費制度を利用することができます。

教育開発調査活動費制度

🔍 申し込み期日

主催者への参加申し込み締切りの5日前までに申し出てください。

この制度は、本学の教育の質的向上のための積極的な調査活動を支援するために、教育開発に関する各種学外企画参加に必要な費用の補助を行うものです。

📌 学習支援・教育開発センターよりお知らせするFD関係学外企画への参加

補助の対象となる企画は、学習支援・教育開発センターホームページの「研究会・研修会のご案内」(<http://clf.doshisha.ac.jp/research/research.html>)に逐次掲載されます。参加を希望される場合は、学習支援・教育開発センター事務局まで申し出てください。

メーリングリストでも案内をしていますので、メーリングリストへ登録を希望される場合は、学習支援・教育開発センター事務局まで登録用のメールアドレスをお知らせください。

📌 上記以外のFD関係学外企画への参加

学習支援・教育開発センターホームページに掲載されていない企画であっても、一定の限度額の範囲内であれば補助の対象となる場合もあります。FD(ファカルティ・ディベロップメント)関係の学外企画への参加を希望される場合は、事前に「**教育開発調査活動費申請書**」を学習支援・教育開発センター事務局まで提出してください。

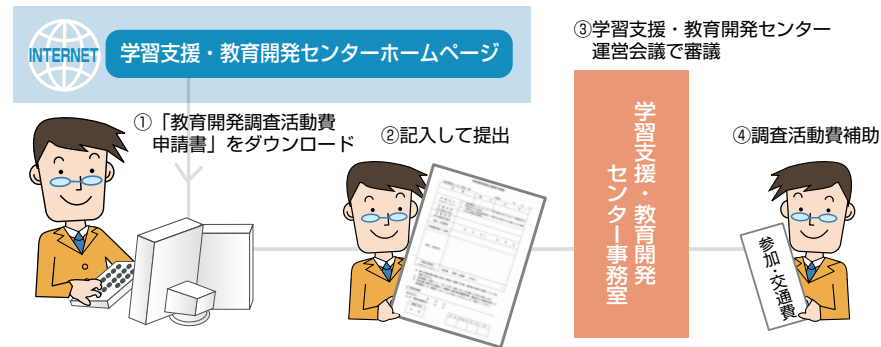
「**教育開発調査活動費申請書**」は学習支援・教育開発センターホームページより(<http://clf.doshisha.ac.jp/support/action.html>)ダウンロードできます。

🔍 支給金額について

1名について年額15万円を上限として補助します。

🔍 教育開発調査活動費制度

「教育開発調査活動費制度に関する申合せ」は、巻末の利用規程集に掲載しています。P.104をご覧ください。



補助の申請のあったものについては、学習支援・教育開発センター運営会議で審議し、補助の可否を決定します。ただし、申請者個人が所属する学会・研究会が主催する企画については申請できません。

🔍 **お問い合わせ** 教育開発調査活動費制度に関するお問い合わせは、学習支援・教育開発センター事務局 (ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

02 マルチメディア講習会の開催

毎年、マルチメディアコンテンツ作成アプリケーションソフトの講習会を実施しています。

マルチメディア講習会

視認性の高い授業コンテンツ作成に役立つ、画像や動画の編集ソフトなどについての操作方法をご説明します。授業コンテンツに、より視認性の高い写真やグラフ、動画を採用することで、教育効果の向上が期待できます。

基本的な操作からご説明しますので、マルチメディアコンテンツ編集ソフトに触れたことがない方でも受講いただけます。また、Windows端末とMac端末をご用意していますので、どちらか使い慣れている端末を選択して受講することが可能です。

各講座の日程や受講形式、講座内容などの詳細は、確定次第お知らせしますので、本学サイト「情報教育環境ナビゲーション」(<http://it.doshisha.ac.jp/>)やITサポートオフィス掲示板で確認してください。

🔍 講習対象者

パソコンの基本的な操作ができる方であれば、誰でも受講いただけます。

ここでは、各講座で使用される機材、ソフトウェアをご紹介します。

使用機材 / ソフトウェア	機材 / ソフトウェア概要
Adobe Photoshop	写真の補正やロゴ作成が簡単にできる画像編集ソフトです。
Adobe Illustrator	複雑なグラフィックスやイラストを作成できる画像編集ソフトです。
Adobe Premiere	ビデオ映像をパソコン上に取込んで編集するソフトです。
Adobe After Effects	Adobe Premiereなどと連携して、動画にさまざまなエフェクトを付加する動画作成ソフトです。
Adobe InDesign	雑誌やパンフレットなどの出版物を、パソコン上で作成、編集するDTP(DeskTopPublishing)ソフトです。
Adobe Dreamweaver	ホームページを簡単に作成できるソフトです。
Apple Keynote	Mac専用のプレゼンテーション用ソフトです。
Shade 3D	高度な3Dグラフィックスを作成するソフトです。
3D スキャナ	立体物を3次元データとして読取る3D装置です。
3D プリンタ	データをもとに素材を出力して幾層にも積み上げ、立体物を成形する3D装置です。

※上記は変更になる場合がありますので、ご了承ください。
※受講形式は講義形式、ワークショップ形式、オンライン形式のいずれかになります。

講習会期間以外でも、マルチメディアコンテンツ編集ソフトを利用できる施設を両校地に整備していますので、ぜひご利用ください。

今出川	良心館 3F ラーニング・commons内 マルチメディアラウンジ 寧静館 2F メディア工房
京田辺	ローム記念館 GF マルチメディアラウンジ

🔍 メディア工房・マルチメディアラウンジ

メディア工房・マルチメディアラウンジについては、P.052をご覧ください。